

平成 29 事業年度の業務実績に関する  
評価委員会における提言

【素案】

和歌山県公立大学法人評価委員会

公立大学法人和歌山県立医科大学に係る平成29事業年度の法人の業務実績に対する評価及び指摘事項等について、和歌山県及び公立大学法人和歌山県立医科大学に対する各委員の提言を、下記のとおり取りまとめた。

## 記

### 【教育】

- さらなる国際化を目指し、海外への派遣学生を増やすための取組の強化や、学部における講義の半分程度を英語で実施するなど、さらに踏み込んだ取組を期待したい。

### 【研究】

- 先端医学研究所については、より大学の特色が明確にアピールできる組織となるよう、そのあり方について検討されたい。
- 独立行政法人制度が始まって以降、わが国の医学研究の論文発表が低迷していることは広く認識されているが、これには構造的な課題があると思われる。貴学においてもこの構造的な課題を深く分析し、対応を検討する必要がある。英文エディターを採用するなどの対応だけでは改善が困難であると思われる。

大学院生の研究時間の確保、研究成果に対するインセンティブの設定、海外の国際学会での発表の機会増、外部研究資金や行政による支援の獲得にかかる取組、教授の選考における研究実績や外部研究資金獲得実績の評価、優秀な研究者の確保など、様々な取組を検討されたい。

### 【臨床】

- 青洲リンクへの病院、診療所、薬局の登録数、同意患者数は増加しているが、登録機関にとってより有用なシステムとなるよう、附属病院以外にも開示病院を拡大するなど、利用促進に繋がる取組を検討されたい。
- 総合診療医の養成拠点としての実績があまり認められない。紀北分院における総合診療医育成の取組について、魅力的な研修プログラムのもとに実績を挙げられるよう今後の展開に期待したい。

### 【地域貢献】

- 和歌山県では、地域医療を担う医師の確保が大きな課題である。地域医療の充実に向けて、専門研修医や各講座の医師数を増加させるための具体的な取組を期待したい。

### 【運営体制】

- ボーナスカット、降格、退職勧告等も含め、教職員の評価をその処遇に反映させる教職員の評価体制の構築を検討されたい。
- 紀北分院改革ワーキングにおいては、経営改革のテーマに留まらず、教育、診療、地域連携における紀北分院の役割と使命及び本院との連携について明確となるよう検討されたい。
- 地方独立行政法人法が改正され、評価委員会による評価結果を業務運営の改善等に適切に反映させることが明記された。第三期中期計画を達成するためには、評価結果を学内にフィードバックしPDCAサイクルを有効に機能させることが必要であることから、実施状況の進捗管理を徹底されたい。
- 約126億円のキャッシュ・フローを有するものの、大規模改修については、平成30年3月に策定された大規模改修基本計画を基本に柔軟に実施されることを望む。
- 附属病院は人命をあずかる職場である。安全を第一に考えるとともに、基本的人権を尊重した教育研究及び職場環境の構築に向け、常に点検、評価を行い、その向上に努められたい。